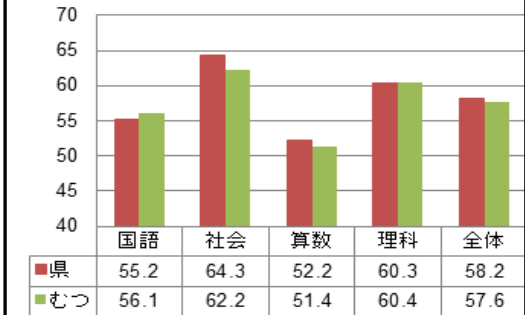
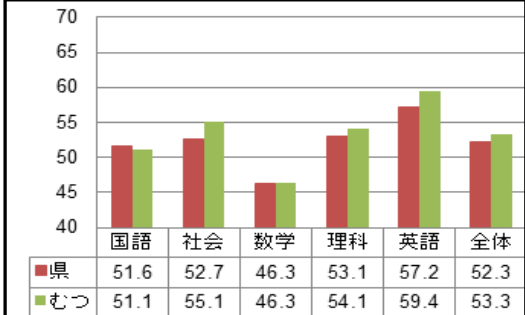
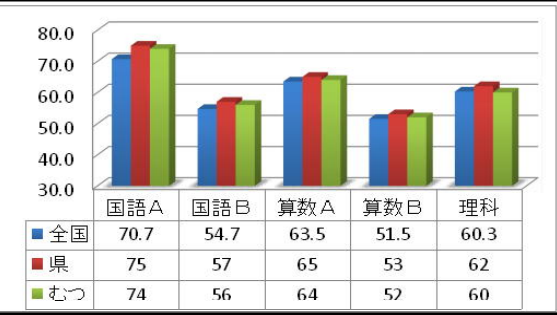


「むつ市教育大綱」における主な施策の中間報告

1 趣旨

本大綱を着実かつ効果的に推進していくため、P D C Aサイクルの考え方にに基づき、毎年度、重点目標を達成するために各施策を実施するとともに、総合教育会議において成果や課題を評価・検証し、今後の施策の更なる推進や改善を図る。

2 重点目標と主な施策等（9月30日現在）

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	担当																																							
1. 学力の向上	(1) 明確な目標設定 「全国でもトップ クラスの学力の育 成」	1) 青森県学習状況調 査	◎県平均を3割上回 る	① 5月～6月 「学力向上の構 造図」を基に組織的な学力向 上の取組を依頼（学校訪問） ② 8月 調査実施 （小5、中2） ③ 10月 県・市・各校の速報値 を小中学校へ送付 ④ 12月 結果公表 ⑤ 3月 広報むつに結果掲載	・12月に集計 H29（参考） 小学校5年生結果  <table border="1" data-bbox="1780 913 2270 976"> <tr><th>科目</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語</td><td>55.2</td><td>56.1</td></tr> <tr><td>社会</td><td>64.3</td><td>62.2</td></tr> <tr><td>算数</td><td>52.2</td><td>51.4</td></tr> <tr><td>理科</td><td>60.3</td><td>60.4</td></tr> <tr><td>全体</td><td>58.2</td><td>57.6</td></tr> </table> 中学校2年生結果  <table border="1" data-bbox="1780 1281 2270 1344"> <tr><th>科目</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語</td><td>51.6</td><td>51.1</td></tr> <tr><td>社会</td><td>52.7</td><td>55.1</td></tr> <tr><td>数学</td><td>46.3</td><td>46.3</td></tr> <tr><td>理科</td><td>53.1</td><td>54.1</td></tr> <tr><td>英語</td><td>57.2</td><td>59.4</td></tr> <tr><td>全体</td><td>52.3</td><td>53.3</td></tr> </table>	科目	県	むつ	国語	55.2	56.1	社会	64.3	62.2	算数	52.2	51.4	理科	60.3	60.4	全体	58.2	57.6	科目	県	むつ	国語	51.6	51.1	社会	52.7	55.1	数学	46.3	46.3	理科	53.1	54.1	英語	57.2	59.4	全体	52.3	53.3	①組織的な学力向上の取組 状況の把握（学校訪問） ②活用力育成講座の開催 ③活用力問題集の提供	学 校 教育課
		科目	県	むつ																																										
国語	55.2	56.1																																												
社会	64.3	62.2																																												
算数	52.2	51.4																																												
理科	60.3	60.4																																												
全体	58.2	57.6																																												
科目	県	むつ																																												
国語	51.6	51.1																																												
社会	52.7	55.1																																												
数学	46.3	46.3																																												
理科	53.1	54.1																																												
英語	57.2	59.4																																												
全体	52.3	53.3																																												
		2) 全国学力学習状況 調査	◎全国平均を3割上 回る	① 4月 調査実施 （小6、中3） ② 5月～6月 「学力向上の構 造図」を基に組織的な学力向 上の取組を依頼（学校訪問） ② 8月 全国、県、市、各校の 結果を小中学校へ送付 ③ 8月 教育委員会で結果報告 ④ 10月 広報むつに結果掲載	小学校6年生結果  <table border="1" data-bbox="1780 1627 2300 1732"> <tr><th>科目</th><th>全国</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語A</td><td>70.7</td><td>75</td><td>74</td></tr> <tr><td>国語B</td><td>54.7</td><td>57</td><td>56</td></tr> <tr><td>算数A</td><td>63.5</td><td>65</td><td>64</td></tr> <tr><td>算数B</td><td>51.5</td><td>53</td><td>52</td></tr> <tr><td>理科</td><td>60.3</td><td>62</td><td>60</td></tr> </table> ・4調査項目で全国平均を上回った。 ・算数Bと理科は、記述式問題の正答 率が全国平均を下回った。	科目	全国	県	むつ	国語A	70.7	75	74	国語B	54.7	57	56	算数A	63.5	65	64	算数B	51.5	53	52	理科	60.3	62	60	①組織的な学力向上の取組 状況の把握（学校訪問） ②活用力育成講座の開催 ⇒学力調査の結果共有、 教育課程編制や授業改 善の視点での情報提 供、先進地・先進校の 取組紹介など ③活用力問題集の提供 ⇒身近な生活場面を設定 し、質問の意図を読み 取り、ポイントとなる 情報を問題文や資料か ら読み取った上で、適 切に思考・判断・表現 する力の育成	学 校 教育課															
科目	全国	県	むつ																																											
国語A	70.7	75	74																																											
国語B	54.7	57	56																																											
算数A	63.5	65	64																																											
算数B	51.5	53	52																																											
理科	60.3	62	60																																											

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当																								
1. 学力の向上	(1) 明確な目標設定 「全国でもトップ クラスの学力の育 成」				<p>中学校3年生結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語A</th> <th>国語B</th> <th>数学A</th> <th>数学B</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■全国</td> <td>76.1</td> <td>61.2</td> <td>66.1</td> <td>46.9</td> <td>66.1</td> </tr> <tr> <td>■県</td> <td>77</td> <td>61</td> <td>67</td> <td>46</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>■むつ</td> <td>76</td> <td>60</td> <td>67</td> <td>45</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>・2調査項目で全国平均を上回った。 ・国語B、算数B、理科は、記述式問題の正答率が全国平均を下回った。</p> <p>質問紙調査の結果（抽出）</p> <p>A:家で自分で計画を立てて予習・復習をしていますか。</p> <p>29年度 ⇒ 30年度 小6 78.3% ⇒ 83.9% (全国 67.6%) 中3 55.6% ⇒ 60.5% (全国 52.1%)</p>		国語A	国語B	数学A	数学B	理科	■全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	■県	77	61	67	46	68	■むつ	76	60	67	45	67		
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科																										
■全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1																										
■県	77	61	67	46	68																										
■むつ	76	60	67	45	67																										
	(2) 主体的な学習の推進 「アクティブラーニング」の推進	1) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善	◎計画訪問や要請訪問における指導と評価 (改善状況100%)	①5～6月 学校訪問で「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善について指導助言 ②8月 弘前大学との連携講座で「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善について講義・演習 ③10月以降 学校訪問で授業改善の状況把握	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に集計 ・H29の状況 校内研修を中心に「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に取り組み始めていることを学校訪問を通して確認(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校訪問(10月～11月)では、各校で実施する教科研究授業で担当指導主事が指導助言 ②各校の授業改善状況を把握した上で、指導上の課題を次年度の学校訪問資料「指導の方針と重点」に反映 	学 校 教育課																								
		2) 新聞を活用した教育活動	◎児童生徒及び教員向けアンケート (A評価60%)	①4月 小学校5年生以上の全学級で新聞購読を開始 ②4月 各校の希望により新聞保管台等の教具や教材等の基盤整備 ③4月～9月 毎週水曜日に新聞社作成の「新聞活用ワークシート通信」(各教科)をメール配信 ④4月～9月 12校で新聞記者による出前授業を実施 (11月に4校で実施予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査(質問紙調査) A:新聞を読んでいますか。 29年度 ⇒ 30年度 小6 21.9% ⇒ 29.7% (全国 19.9%) 中3 16.9% ⇒ 16.3% (全国 13.9%) 	<ul style="list-style-type: none"> ①年度末にアンケート調査実施、各校から活用状況に係る報告書の提出 ②各校の実践例の共有 ③新聞記事を使った活用型問題集の紹介 	学 校 教育課																								

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
1. 学力の向上	(2)主体的な学習の推進 「アクティブラーニング」の推進	2)新聞を活用した教育活動		⑤8月 青森県N I Eアドバイザーによる新聞活用に係る研修講座開催 ⑥各校の主な取組 ・学級でニュース発表、新聞切り抜きや感想文のスクラップ ・国語、社会、総合的な学習の時間等で新聞記事の活用	・3月にアンケート調査 29年度結果：興味・関心が高まったと回答した児童生徒51%		
	(3)教育環境の整備	1)特別支援教室の充実	◎ICTを活用した特別支援教育に関する勉強会の開催 (H30年度実施予定)	①苫生小学校のタブレット端末勉強会は実施に向けた準備中 ②田名部中学校は5月にタブレット端末が納品され特別支援教室で活用	・田名部中学校は2月の勉強会開催に向け準備中	①勉強会プログラムの確認 ②開催日の調整 ③意見やアイデアの共有	総務課
		2)「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づく、学校規模の適正化	◎大畑地区の小学校の統合計画の策定 (H30年度策定)	①11月保護者説明会開催予定 ②3月末までに計画策定・公表	・H29の状況 5月 保護者説明会 11月 住民説明会	①保護者及び地域住民の理解と納得が得られる形で計画を策定できるよう対応する。	総務課
		3)高度情報化に対応するための人材育成	◎ICTを活用に関する事業の導入 (全中学校9校)	①関根中学校のタブレット端末は教室以外に体育館での体育の授業にも活用	・関根中学校では公開授業開催に向けて授業内容を構成中	①導入するハード・ソフトの選択を継続 ②指導者のスキルアップ ③実践例の情報共有	総務課
	(4)教職員の資質向上 「専門性を身に付けた教職員の育成」	1)むつ市教育研修センターの研修講座の推進	◎研修講座実施後の参加者アンケート (A評価80%)	①4月～9月 18講座中15講座を終了 ②10月～1月 3講座実施予定	4月～9月までの実施済講座の評価 A評価 76.0% (H29 73.8%)	①アンケート結果を精査し教職員のニーズに応じるよう次年度の講座内容を検討 ②次期学習指導要領の趣旨に対応した講座となるよう検討	学校教育課
		2)校内研修体制の整備・充実	◎「校内研修の成果と課題」の集約と分析 (改善状況100%)	①5月～6月 学校訪問資料「指導の方針と重点」に校内研修推進に関する項目を追加し学校訪問で説明 ②5月 各校の校内研修計画を教育系イントラネット上のキャビネットに公開し情報共有 ③7月 学校教育課広報で授業改善に係る情報提供 ④10月以降の学校訪問で改善状況の確認	・3月に集計 ・H29の状況 教員の専門性向上のため校内研修を中心に授業改善に取り組んでいることを学校訪問を通して確認(100%)	①学校訪問で各校の校内研修に関連させて担当指導主事が助言 ②校内研修の推進状況を把握した上で、課題を次年度の「指導の方針と重点」に反映	学校教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
1. 学力の向上	(5) 幼保小連携 「幼児教育と義務教育の相互理解」	1) 幼稚園・保育園と 小学校との連携研 修講座	◎研修講座実施後の 参加者アンケート (A評価80%)	①7月 連携研修講座開催	参加者アンケート A評価：71.4% (H29 57.1%) ・幼稚園や保育園の先生方からは高い 評価 ・園と小学校の先生方の情報交換や交 流は有意義であるとの感想多数	①アンケート結果に基づき 参加者のニーズに応じた 内容となるよう次年度の 講座内容を検討	学 校 教育課
		2) スタートカリキュ ラム（園と小学校 の接続期カリキュ ラム）の作成	◎各小学校における 作成状況 (30年度 作成率100%)	①3月 スタートカリキュラ ム・モデルプランを各小学校 に提供 ②7月 幼稚園・保育園と小学 校との連携研修講座でスタ ートカリキュラム作成に係る講 義・演習	・3月に集計 ・H29の状況 学校教育課と市内3小学校の関係者 でモデルプランを作成し市内各小学 校に資料提供	①次年度の「幼稚園・保育 園と小学校との連携研修 講座」において各校のプ ランを情報共有	学 校 教育課
2. 体育・健康 教育の充実	(1) 健康な体を育む学 校づくり	1) 健康教育の実施	◎肥満傾向児の出現 率 (前年度以下)	①5月～6月 学校訪問におい て短命5大要因（肥満、運 動、食生活、喫煙、飲酒）に 係る健康教育推進を依頼 ②5月～6月 各校で学校保健 調査を実施 ③8月 養護教諭対象の健康教 育講座で情報提供	・29年度 ⇒ 30年度 小学校全学年 男子 16.47% ⇒ 16.69% 女子 12.39% ⇒ 12.68% 中学校全学年 男子 16.65% ⇒ 16.99% 女子 15.96% ⇒ 15.08% ・肥満傾向児の出現率は、ほぼ横ばい 状況であった。	①健康教育に係る情報提供 を継続する。	学 校 教育課
		2) 「健康の未来」を 変える授業プロジ ェクト	◎実施校4校でのア ンケ ート調査 (A評価60%)	①3月 H29実践資料集の 作成、配付 ②4月 実践校の依頼 ③7月 脇野沢中で実施 ④8月 養護教諭対象の健康教 育講座で実践資料集に係る情 報提供 ⑤11月 三田小、二枚橋小、大 平中で実施、アンケート調査	・脇野沢中アンケート結果 A評価：78%（生徒） 70%（職員） ・健康に関して生徒に関心を抱かせる 機会となり、短命県、肥満等への理 解が進んだ。	①11月に4校のアンケ ート結果を集約 ②年度末に実践資料集を市 内小中学校に配布すると ともに、次年度の教育研 修センター講座でも活用	学 校 教育課
		3) 新体力テストの実 施と分析	◎県平均との比較 (前年度以下)	①5月～6月 各校において8 種目（握力、上体おこし、長 座体前屈、50m走、立ち幅 跳び、ソフトボール投げ、反 復横跳び、シャトルラン）の 体力テスト実施、結果提出 ②7月 結果を受けて各学校で 「体力向上計画」策定	・3月に集計（小5、中2抽出調査） ・H29（参考） 小学校5年 むつ市男子 49.3 青森県 50.3 むつ市女子 49.5 青森県 51.2	①3月には全国及び県の集 計結果が発表されるため むつ市と比較 ②特に小学校においてスポ ーツ活動を確保するよう 依頼	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
2. 体育・健康 教育の充実	(1) 健康な体を育む学 校づくり	3) 新体力テストの実 施と分析			中学校2年 むつ市男子 51.8 青森県 50.2 むつ市女子 50.5 青森県 49.5 小学校では県平均を下回ったが、 中学校は上回っている。		
	(2) 安全・防災教育の 推進	1) 危機管理マニユア ル策定	◎各学校における改 善状況の把握 (30年度改善状況100%)	①H29 市内各小中学校の全 学級にマニュアルを配備 ②5月～6月 学校訪問でマニ ュアルの見直しや改善依頼 ③8月 各小中学校及び保護者 に対し、通学路の危険個所 (防災面・防犯面)に関する 協力依頼 ③9月 危険個所について関係 機関等と情報共有を図り対策 協議 ④9月 各校に対し通学路にお ける注意喚起の通知	・3月に改善状況の把握 ・H29の状況 「平成29年度学校体育、健康・ 交通安全等に関する調査」により、 市内全小中学校において学校危機管 理マニュアルの見直しがされたこと を確認(100%)	①防犯・防災・交通安全の 視点で関係機関等での情 報共有の場の設定を検討 ②各校の危機管理マニユア ルの改善状況を把握 ③各校の危機管理マニユア ルの情報共有	学 校 教育課
	(3) スポーツ環境整備	1) 小学校部活動のス ポーツ少年団への 移行	◎指導者データバン クの創設 (目標：30年度)	①関係団体への説明と協力依頼	・H30.5月 スポーツ少年団総会 ・H30.7月 むつ市体育協会運営委員会	①関係団体等と調整を図 り、創設を目指す	市 民 スホ [○] ーツ 課
				②指導者バンク登録に係るアン ケート調査実施	・H30.8月 アンケート内容についてむ つ市体育協会と協議調整後、加盟競 技団体に対しアンケート調査を実施		
		◎小学校運動部活動 からスポーツ少年 団等の活動への移 行を支援 (目標：31年度)	①H29 小学生スポーツ活動 連絡協議会の設置、指針策定 ②3月 各小学校へアンケート ③4月～7月 各小学校で説明 会、保護者アンケート ④6月～7月 2小学校からの 要望に対し対応(体育館の合 鍵、グラウンドへの土砂搬入) ⑤8月 小学生スポーツ活動連 絡協議会の開催、教育委員会 で進捗状況の報告	各校の状況 ・移行済み5校(一田小・三田小・ 苦生小・大畑小・脇野沢小) ・一部移行3校(二田小・大平小・ 大湊小) ・検討中 3校(関根小・奥内小・ 川内小) ・放課後の活動2校(正津川小・ 二枚橋小)	①10月～支援策の検討 指導者・運営者の確保、 活動場所の確保、 用具類の支援、 登録料や保険料の支援、 移動手段 ②教育委員会と校長会の合 同会議において情報提供 ③市連P等に情報提供及び 協力依頼	学 校 教育課	
	2) スポーツ施設の整 備	◎総合アリーナの建 設 (目標：31年度)	①総合アリーナ建設工事	・建設工事 → H30.8.8 本契約締結 8.9 着工 ・監理業務 → H30.9.3 契約締結	①2020年供用開始を目指す	市 民 スホ [○] ーツ 課	

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
2. 体育・健康 教育の充実	(3) スポーツ環境整備	3) トップアスリートとの交流機会の創出	◎年1回以上実施 (目標: 33年度)	① 6月 鹿島アントラーズむつ市少年サッカー教室を開催 ② 9月 ラインメール青森公式試合inむつ初開催 ③12月 NTT東日本漕艇部によるボート教室を開催予定 ④12月 西武ライオンズによる「ふれあい野球教室」を開催予定	①約172名の小学生が参加し、トップアスリートの技術に触れ、交流した ②昨年より公式試合開催のための調整を進め、むつ市初開催が実現した午前中は小学生を対象にサッカー教室を開催し選手と交流、公式試合は計634名が観戦、盛況であった	・今後も年1回以上の開催を目指す	市民スポーツ課
3. 夢を育む教育	(1) 学力の保障を通じた生きる力の育成	1) むつ市総合学力調査	◎意識調査「自己肯定感」 (全国平均以上) ・将来の夢や進路について家の人と話をする。 (設問11) ・努力すればたいていのことはできる。 (設問25) ・自分には褒められるような得意なことがある。 (設問53)	①学校訪問において、児童生徒の自己肯定感の育成を依頼 ②温かい人間関係づくりを基盤とした学年・学級経営の依頼	・4月実施結果 29年度 ⇒ 30年度 小5 67.0% ⇒ 65.8% (全国 63.7%) 中2 77.6% ⇒ 77.6% (全国 72.1%) 小5 92.3% ⇒ 90.7% (全国 89.4%) 中2 87.2% ⇒ 86.8% (全国 84.5%) 小5 82.5% ⇒ 81.6% (全国 78.3%) 中2 70.5% ⇒ 67.6% (全国 72.4%)	①引き続き児童生徒が自己肯定感を持てるよう学校訪問等で依頼 ②調査結果を次年度の学校訪問資料「指導の方針と重点」に反映	学校教育課
		2) 全国学力学習状況調査	◎質問紙調査「夢や目標」 (全国平均以上) ・将来の夢や目標を持っているか。	①学校訪問において、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進を依頼	①4月実施結果 小6・中3ともに全国平均を上回っている。 29年度 ⇒ 30年度 小6 93.2% ⇒ 89.3% (全国 85.1%) 中3 78.4% ⇒ 74.0% (全国 72.4%)	①引き続き児童生徒が夢や目標を持てるよう学校訪問等で働きかけ ②次年度に向け、キャリア教育講演会の内容を検討	学校教育課
	(2) キャリア教育の充実	1) むつ市中学生夢はぐくむ体験入学	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	①4月 募集開始 ②6月 広報むつで募集 ③8月 青森中央学院大学にて看護体験(23名参加)、学長による特別講義 ④9月 報告書作成	・8月参加者アンケート結果 H29: 75.0% H30: 82.6%	①参加者のニーズに応じた内容となるよう青森中央学院大学の担当者とは次年度に向け協議 ②医療関係を希望する生徒の参加促進	学校教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(2) キャリア教育の充実	2) ジュニア大使派遣事業	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	①4月 広報むつで周知 ②5月 募集開始 ③6月 面接選考 ④7月 任命書・委嘱状交付式 ⑤7月～12月 事前研修(7回の予定)	・1月アンケート調査 H29: 90.0%	①12月 結団式 ②1月 派遣団出発(1/3) 派遣団帰市(1/10) 事後研修 アンケート実施 報告会(1/30)	学校教育課
		3) キャリア教育講演会	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	①4月 各校へ案内 ②5月 JAXA職員 (大湊小) 6月 フリーアナウンサー (近川中) 9月 レスキュー隊隊長 (一田小) メダリスト (奥内小、大畑中) 作家 (三田小) 10月 作家 (関根小) 11月 プロスキーヤー (大平小) 救命救急医 (大平中)	・11月アンケート調査集計 ○これまでの児童生徒の主な感想 ・自分の知らない世界に触れられるし、人生観が変わった。 ・苦しさから這い上がってきた講師を心から尊敬する。 ・目標設定へのきっかけづくりになった。	①講演会後のアンケートや感想文の内容を集約し、次年度に向け開催方法や講師を検討	学校教育課
	(3) 特別支援教育の充実	①スクールサポーター配置	◎配置校へのアンケート調査 (A評価60%)	①4月 サポーター配置 小学校8校に23名 中学校4校に7名 計30名	・12月アンケート調査 H29 82.7%	①12月 各校へアンケート調査、サポーターとの面談 ②12月 次年度の募集開始 (人員確保のため、これまでより1ヶ月早目の募集開始) ③1月 採用面接 ④2月 採用内定	学校教育課
		②個別の教育支援計画の作成	◎個別の教育支援計画の作成状況 (作成率100%)	①5月 就学事務説明会 ②5月～7月 幼稚園等訪問 ③6月 個別の教育支援計画の作成状況把握 特支教推進委員会Ⅰ ④8月～9月 小学校訪問 ⑤9月 特支教推進委員会Ⅱ	・6月段階の作成状況 H29: 88.7% H30: 95.8% ・3月段階の作成状況 H29 100%	①11月 特別支援教育体制整備状況調査 ②12月 特別支援教育教推進委員会Ⅲ ③2月 特別支援教育推進委員会Ⅳで新入学児童の計画作成 ④3月 作成状況の確認、進級・進学時にあたっての確実な引き継ぎ	学校教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(4) 豊かな心の育成	1) いじめ防止に向けた日常的な取組	◎いじめ解消率の把握 (解消率100%)	① 4月 むつ市校長会との合同会議でいじめ対応の依頼 ② 4月 「むつ市いじめ防止基本方針」改訂版を基に各校の基本方針の改善依頼 ③ 4月～9月いじめが発生した学校と定期的に情報共有 ④ 7月 「むつ市いじめ問題対策委員会」において取組状況報告 ⑤ 9月末までの認知件数25件のうち、一定期間見守りをし、解消と認められたケースは24件	・ 9月末現在の認知件数 25件 解消した件数 24件 解消率 96.0% ・ 3月段階の解消率 H29:100% (18件)	① 解消に至っていない学校とは継続して情報共有し関係者を支援 ② 生徒指導担当者どうしの情報共有を促進	学 校 教育課
		2) いじめ防止宣言フォーラムの開催	◎児童生徒へのアンケート調査 (A評価80%)	① 8月 いじめ防止のため、保護者向け文書「子どもの安全・安心のために」、学校向け文書「夏休み明けの指導にあたって」配付 ② 10月 小中学校保護者に「いじめ防止リーフレット」配付 ③ 11月15日 川内小中学校でいじめ防止宣言フォーラム開催	・ 11月アンケート調査 H29 76.6%	① アンケート調査の集計 ② 事後指導用資料作成、小中学校へ配付 ③ 各校での日常的ないじめ防止の取組状況確認	学 校 教育課
		3) 生徒指導検査アセスに基づく児童生徒理解	◎各学校の取組状況の把握 (取組状況100%)	① 4月 アセスに基づく児童生徒理解について校長会との合同会議で依頼 ② 8月 青森県総合学校教育センターの講師によるアセス活用講座の開催	・ 3月に集計 H29 100%	① 年度末には児童生徒理解に向けた取組状況に係る報告書が各校から提出 ② 報告内容を集約し効果的取組について各校と情報共有	学 校 教育課
		4) 望ましい生活習慣の育成	◎全国学力調査での質問紙調査 (全国平均以上) ・ 学校のきまりを守っているか。	① 4月 校長会、計画訪問、生徒指導担当者会議において基本的な生活習慣の育成について依頼 ② 定期的に生徒指導担当者と情報共有	① 4月 調査実施 調査結果 (抽出) 29年度 ⇒ 30年度 小6 94.7% ⇒ 95.1% (全国 89.5%) 中3 97.1% ⇒ 96.7% (全国 95.1%)	① 学校訪問や生徒指導担当者会議で情報提供	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	担当				
4. 地域とともに ある学校	(1) 家庭・地域との連 携・強化	1) 開かれた学校づく りと地域とともに ある学校づくり	◎コミュニティスク ールの導入 (目標：32年度)	① 4月 モデル校の関根小・関 根中で学校運営協議会を設置 し、学校運営の基本方針の承 認 ② 12月 校長を対象とした研修 会を計画	・ 関根ブロックでモデル校として4月 からコミュニティスクールの導入	① 基本計画の具体化 30年度 モデル校での 研究開始 31年度 希望校のみ移行 32年度 全小中学校での 導入を検討	総務課 学 校 教育課				
			◎放課後子供教室の 開設 (7教室)	① 9月に余裕教室の状況調査を 実施。(大畑小、正津川小以 外なし) ② 未設置地域の余裕教室等を把 握しながら開設に努める。	・ 川内地域子ども教室の運営ボラン ティアが確保できずH30は開設できな かったため、教室数は1減の4教室にな った。	① 未設置地域での開設を目 指すとともに、設置地域 では教育活動サポーター の確保に努め活動の充実 を図る。	生涯 学習課				
			◎学校関係者評価に おける学校運営の 改善状況 (53%→100%)	① 4月 学校訪問で開かれた学 校づくりについて依頼した。 ② 3月 改善状況の確認	・ 3月に集計 H29 100%	① 年度末に各校から学校関 係者評価の結果提出 ② 評価結果を基に、コミュ ニティスクール移行に向 けた基盤整備に反映	総務課 学 校 教育課				
	(2) 多様な学習機会の 提供	1) 社会教育施設の利用 促進	◎公民館・図書館利 用者数 (181,000人)	① 映画監督川島雄三生誕100年 記念事業を中心として、利用 者の増加を図る。	公民館	H29	37,869	H30	34,145	① 利用者目線にたった更なる サービスの提供に努め ていく。	公民館 図書館
					図書館		65,235		66,032		
					計	9月末	103,104	9月末	100,177		
		2) 各種講座や生涯学 習事業の実施	◎主催事業参加者数 (18,522人)	① 自然観察会のほか、各種講座 や展示会の実施	生涯学習	H29	81	H30	120	① アンケート調査などから 利用者の意見を把握し、 多種多様化する学習ニー ズに応える学習機会の 提供を図る。	生涯 学習課 公民館 図書館
					公民館		1,694		4,470		
					図書館		3,378		3,040		
	計				9月末	5,153	9月末	7,630			
3) 学習・交流の場と なる施設機能の充 実	◎各団体・各サーク ルの利用者数 【公民館・図書館】 (31,015人)	① 市民が利用しやすい施設環境 の提供に努めている。	公民館	H29	19,178	H30	17,249	① 施設の老朽化に対応しな がら、安心して利用で きる施設環境整備に務め ていく。	公民館 図書館		
			図書館		2,358		2,621				
			計	9月末	21,536	9月末	19,870				
(3) 廃校校舎の利活用	1) 廃校校舎の計画的 利活用及び解体	◎「むつ市公共施設 等総合管理計画」 に沿った利活用の 検討 (要検討：19校)	① 地域住民に町内会等で活用す る方法はないか検討して頂い ている。	・ 太陽光発電施設の設置について調査 研究をしている。	① 関係機関と連携し実現に 向けた方法を模索する。	総務課					
(4) ふるさとむつ市へ の愛着と誇りを育 む教育	1) 文化財の保存活用	◎北の防人大湊ボラ ンティアガイドの 登録者数 (20人)	① 5月、6月で全5回の養成講 座を開催した。 ② ガイドグループと当課で毎月 定例会を開催し情報共有に努 めている。	・ ボランティアガイド登録者 17人 ・ 9月末現在 687人/27団体、個人59人 計746人にガイドを実施	① 研修会を開催し、ボラン ティアガイドの養成を図 る。	生涯 学習課					

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平30年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成30年度の成果及び進捗状況) ※赤文字は今年度の確定している部分の成果	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
4. 地域とともに ある学校	(4) ふるさとむつ市への 愛着と誇りを育む 教育	2) ジオパークに関する 教育活動	◎ ジオパーク体験活 動の参加者 (児童生徒の30%)	① 4月 校長会との合同会議で ジオパーク体験活動推進事業 について説明 (バス借上料、 教材費等) ② 5月～9月 ・ジオ体験推進事業の申請校 小学校 13校 中学校 6校 ・出前講座の実施校 小学校 9校 中学校 6校 ・主な学習内容 総合的な学習の時間等を通 し、地域を知る活動や地域に 貢献する活動 (体験活動、ゴ ミ拾い、地域の紹介等)、 理科や社会の学習 (地層や 歴史の学習) ③ 8月 教育センターの理科講 座でジオ・セッション開催 ④ 12月 下北ジオパーク学習発 表会 (小中4校)	9月末現在 ・ジオ体験活動への参加児童生徒 小学校 13校 (全児童の33%) 中学校 6校 (全生徒の17%) ・ジオサイト見学先 ちどり浜 2校 中野沢 1校 釜臥山・恐山 6校 川内 3校 脇野沢 4校 大湊芦崎 3校 仏ヶ浦 1校 東通 3校 ・むつ市の出前講座 小学校 9校 (対象学年の29%) 中学校 6校 (全生徒の27%) ・出前講座以外にも県民局の事業や 学校独自の依頼で事前・事後指導を 実施	① 学習成果に係る情報提供 の依頼 ② アンケート及び報告書の 集約 ③ 各校の取組を情報共有	学 校 教育課